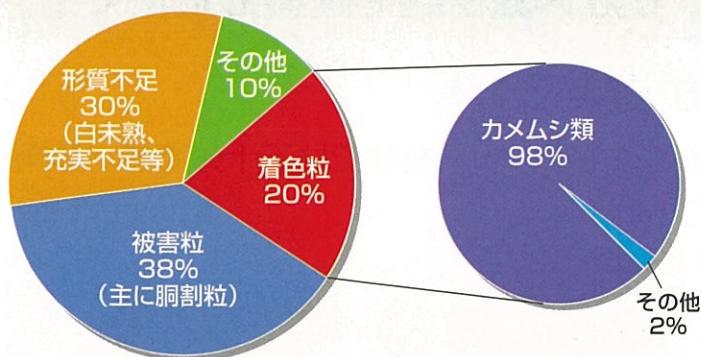


「品質向上」のためのポイントは 「斑点米カメムシ」対策！

2等以下に格付けされた主な理由(26~28年産)



栃木県産米の品質低下理由のひとつは、
着色粒(斑点米カメムシ害)です。

斑点米被害を防ぐためには、**水田にカメムシ類が近寄りにくい環境を作ること**、**薬剤による効果的な防除を行うこと**、**が重要です。**

特に山間地、早生品種は要注意です。



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



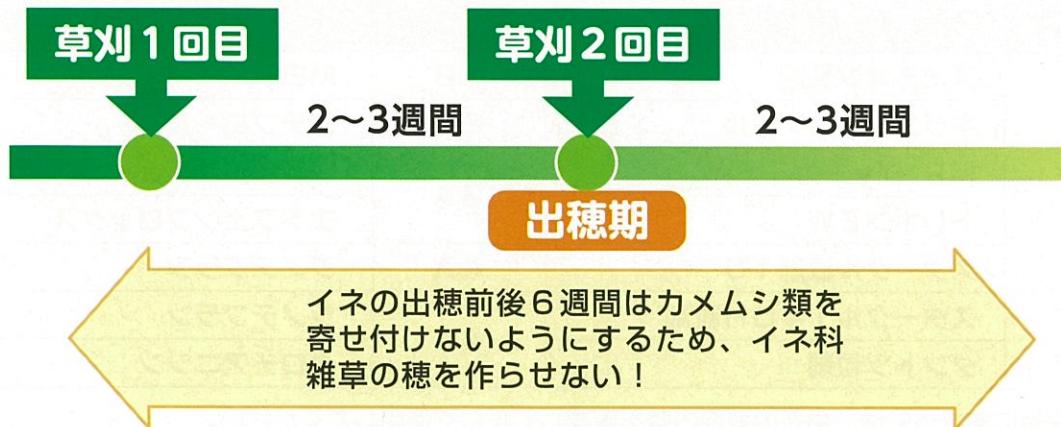
アカスジカスミカメ



(写真：栃木県農業環境指導センター提供)

対策その1 畦畔2回連続草刈でカメムシ類を寄せつけない！

畦畔2回連続草刈とは、**水稻の出穂2~3週間前と出穂期頃の2回連続で草刈し、イネ科雑草の穂を作らせず、カメムシ類を寄せ付けない技術**です。適正時期に草刈を実施し、カメムシ類の水田内への侵入を防ぎましょう。



対策その2 地域の一斎草刈でカメムシ類の密度を下げる！

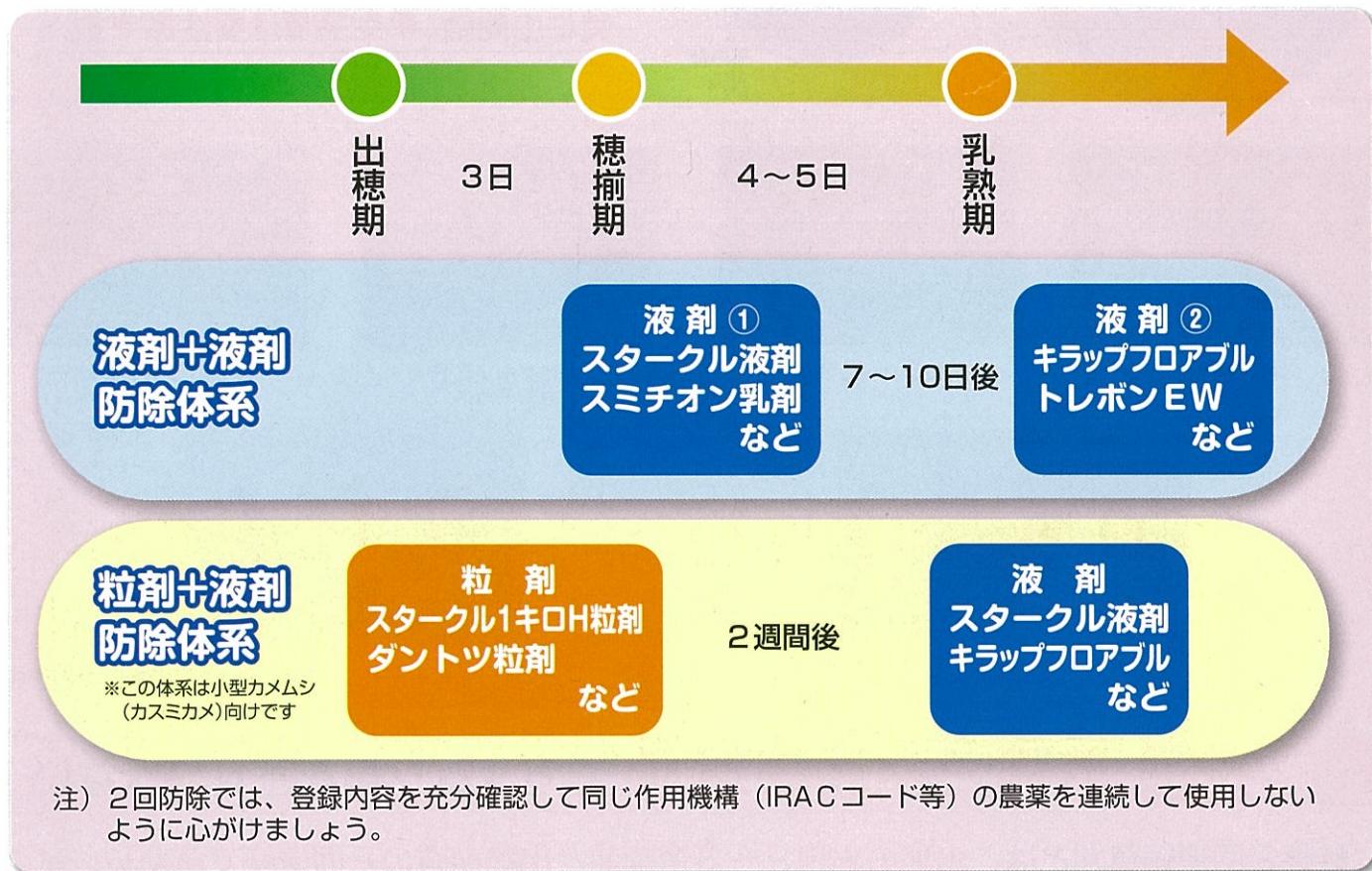
カメムシ類の生息密度を下げるためには、日頃から草刈を行うことが原則です。草刈をして、「地域にイネ科雑草を残さない」ことが重要となります。

地域全体で一斎草刈を行い、**カメムシ類が水田周辺のイネ科雑草に飛来してこない環境づくり**を心がけましょう。

対策その3 薬剤の適正使用でカメムシ類を確実にたたく！

①常発地のカメムシ類は2回防除が基本です！

カメムシ類の加害期間は長いので、常発地では1回の薬剤防除では不十分です。薬剤の特性を活かして、効率的な防除をしましょう。



②カメムシ類に効果の高い薬剤

(平成29年5月16日現在)

剤型	農薬名	IRACコード	有効成分の名称
液剤	スミチオン乳剤	1B	MEP
	キラップフロアブル	2B	エチプロール
	MR. ジョーカーEW	3A	シラフルオフェン
	トレボンEW		エトフェンプロックス
粒剤	スタークル液剤10	4A	ジノテフラン
	スタークル1キロH粒剤	4A	ジノテフラン
	ダントツ粒剤		クロチアニジン

※農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認して正しく使用してください。